

森林療法学特論 (2単位)

担当者氏名 上原 巖

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

「森林療法」とは、森林環境を利用したリハビリテーション、カウンセリング、療育、作業療法、代替療法など、森林を総合的に活用した健康増進および福祉医療を含むところみを指し、各地域においてその発展が期待されている。本論では、そうした森林環境の持つ健康増進や精神・心理面、また福祉、医療分野における効用を活用した森林療法について、国内外の事例を取り上げながら考察し、今後の地域社会における森林療法の可能性や、その効果の発揮できる森林環境のあり方について学ぶことを目的とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

<u>森林療法</u>	<u>健康増進</u>	<u>メンタルヘルス</u>	<u>作業療法</u>
<u>森林カウンセリング</u>	<u>森林療育</u>	<u>福祉</u>	<u>医療</u>

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	森林環境のアメニティ	森林環境の持つ風致効果、保健休養効果について	各授業では、それぞれのテーマについての事例を中心に進め、森林フィールド実習も適宜行う。
2	森林を活用した健康増進	森林を活用した健康増進事例とその効果について	
3	メンタルヘルス、心理分野	森林環境を活用した心理的保養	
4	医療分野	医療分野における森林療法の事例とその効果	
5	福祉分野	福祉分野における森林療法の事例とその効果	
6	芸術分野	芸術分野における森林療法の事例とその効果	
7	森林風致計画	森林の風致効果、保健休養効果を高める森林造成	
8	地域における計画	各地域の森林を活用した森林療法の計画手法	
9	海外における事例	海外における森林を活用した健康増進、福祉、医療	
10	フィールド演習	地域の山林におけるフィールド演習の実施	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

森林療法序説/上原 巖/全国林業改良普及協会 (2003)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

森と健康/全国林業改良普及協会/全国林業改良普及協会 (2002)

森林療法のでびき/上原 巖/全国林業改良普及協会 (2007)

回復の森/上原 巖監修・日本森林保健学会編/川辺書林 (2013)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

授業での討議、実習での取り組み、レポート等により評価する。

◆オフィスアワー

毎週月曜日の 16 時以降、造林学研究室で質問等を受け付ける

◆その他受講上の注意事項

身近な森林環境の保健休養効果について関心を持ちながら、国内外の文献についても積極的に講読すること